



広げる！深める！ 地域学校協働活動を核とした地域づくり

各地域でコミュニティスクールによる地域学校協働活動が行われています。子どもたちは様々な地域の方から学ぶことにより視野を広げ、地域は子どもたちとの活動を介し、住民同士のつながりが広がり、深まってきています。この講座では地域学校協働活動をさらに充実させるためにはどうしたらよいかを講義やグループによる地域学校協働活動の立案を通して考えました。

自分が関わっている取組は地域学校協働活動と言えるのか分からない、地域学校協働活動を充実させたくても進め方がよく分からないなどと悩んでいる地域づくり推進者にとって、地域学校協働活動の捉え方、具体的に何をしたらよいか等が分かり、各地域の地域づくりに生かせる手ごたえを得ることができた講座となりました。

(受講者 42名)



〈研修内容〉

- 講義 演題 「地域学校協働活動を核とした地域づくり」
 - 熟議体験 (地域学校協働活動立案) 「地域づくりに必要な視点」
- 講師 文部科学省CSマイスター
 檜葉町教育委員会指導主事 檜葉町地域学校協働センター長
 猿渡 智衛 氏



受講者アンケートから

- 地域学校協働活動の考え方について、これまで疑問に思っていたことがすっきり胸に落ちるお話でした。(公民館職員・公民館関係者)
- 一体的推進の意味、組み合わせて実施等、改めて確認できました。(県・国職員)
- 育てたい子ども像がはっきりして、どんなことができそうか具体的に考えることができました。様々な立場の方とお話することができ、どの方も『子どものため』『地域のため』と思って活動してくださっていることが分かり、学校としてもできることに取り組んでいかななくてはと思いました。(学校教職員)
- 地域におけるこれからの活動や目標、設定に生かせる内容で大変参考になりました。(公民館職員・公民館関係者)
- 「もっと話したいね」でオンライン(の熟議体験)が終わるという貴重な時間でした。(県・国職員)
- 育てたい子どもに育つには、地域学校協働活動が必要だということに熟議体験をして改めて気づけた。(学校教職員)